

新聞と友だちになろう PART 1 (5年生 _____)

5年生ぐらいになると、新聞に興味を持つ子供が出てきます。担当していた5年生の子どもたちも、授業で、新聞に載っていた記事を話題にしたり、新聞の切り抜きを教材にしたりすることから、だいぶ新聞を意識するようになってきました。毎日のように新聞に目を通すようになった子どももいますが、だいぶ個人差があります。多くの子どもたちはスポーツ面とテレビ欄に興味があるようです。また、テレビからニュースをキャッチし、そして新聞を読んでみるということもしているようでした。

1. 授業の目標

- ① 新聞に親しみを持たせ、言語・社会・自然等についての関心を育み、新聞を通しての情報収集能力の必要さを考えます。
- ② 新聞を読む過程で、国際的な出来事に関心を持たせ、多様な価値観を認める姿勢をつくれます。

2. 授業の構想

【「新聞」の基礎的読み方】

- (1)「新聞」の誤りを考える(1時間)
- (2)「新聞」をいろいろな視点からキャッチする(8時間)
- (3)「新聞」を丸ごと使い、記事の内容について考える(4時間)
- (4)「新聞」の記事を比べて読む(2時間)

【「新聞」の主体的な読み方】

- (5)「新聞」の記事のおよそをつかみ、自分なりの解説を書く(2時間)

【産業としての「新聞」の理解】

- (6)「ニュースは世界を駆けめぐる」仕組みを理解する(4時間)

【「新聞」の個性的な読み方】

- (7)「新聞」に関する自由研究(オリエンテーション2時間)

3. 授業の過程(23時間)

[注]資料として新聞を丸ごと一人ひとりに配布した場合は明記しましたが、それ以外の新聞資料は省略しました。

(1)「新聞」の誤りを考える(1時間)

〈目標〉「新聞」にも誤りがあることを具体的な例を通して理解します。 第1時 「新聞」にも誤りがある 89.9.11 実施

〈内容〉①サンゴ事件、グリコ事件、宮崎勤アジト事件を取りあげ、作られた記事や誤報があることを考えます。

②各新聞には「訂正」「おわび」の欄があることを通して新聞の誤りについて考えます。

③平城京跡から出土した最古の絵馬の写真(『読売』はモノクローム)の色が新聞社によ

って違うことから、写真も必ずしも事実を正確に伝えるものではないことを考えます。
※この日から、個人差を少し縮めるために、できたらテレビや新聞からニュースをどこで、何があったかの2つの視点からキャッチするように指示を出し、朝や帰りの会に自由に発表させるようにします。

(2)「新聞」をいろいろな視点からキャッチする(8時間)

<目標>「新聞」の内容をいろいろな視点からキャッチし「新聞」に親しみをもちます

第1時 「新聞」を開いてみたら 89.9.26 実施 『読売新聞』89.9.26 朝刊 を一人ひとりに配布。

<内容>①新聞にはどのような記事が載っているかを見ていきます。
②普段はどのような面を見ているのか聞きます。

第2時 「見出し」をキャッチする 89.9.28 実施 『毎日新聞』89.9.28 朝刊 を一人ひとりに配布。

<内容>①明治時代と現在の新聞を比べ、見出しの有無や構成の仕方の違いに気がきます。
②『漁場目前「空飛ぶ漁船員」』の見出しから、見出しは情報になることを考えます。
③『電気バリアさわるとギョ!』『ドロボウの足は" ロバの足、』の見出しから見出しの工夫を考えます。
④この日の朝刊から、興味ある見出しを探します。

第3時 「写真」をキャッチする 89.9.29 実施

<内容>①前時に一人ひとりに配布した新聞から引き付けられる写真を探し、その理由から内容を想像し記事を読みます

第4時 「数字・統計資料」をキャッチする 89.10.3 実施

<内容>①見出しに使われた数字に注目したり、統計資料から分かることを出しあったりして、記事を読んでいきます。

第5時 「イラスト」をキャッチする① 89.10.5 実施

<内容>①イラスト「だっこちゃん」「カルピスの黒人マーク」からイメージするものを出し、イラストからニュースを知ります。関係者や投書の言葉を読み、イラストについて自分の意見を持ち、討論します。
②アメリカで使われている日本語テキストの中の「日本の家族」を紹介するイラストを知り、自分の意見を持ちます。
③日本の黒人キャラクターとアメリカの日本家族やレストランのイラストを重ねて自分の意見を持ち、討論します。

第6時 「イラスト」をキャッチする② 89.10.6 実施

<内容>①「だっこちゃんマーク」「カルピスマーク」を黄色に塗ったものや黒人キャラクターの商品(だっこちゃん、サンリオのキャラクター「サンボ&ハンナ」「ビビンバ)と絵本『ちびくろサンボ』の実物を見て黒人キャラクターについて考えます。

- ②「国際化必要なのは米では…」を使い、日本の家族のイラストと記事について疑問に思うことを出しあいます。

第7時 「おもしろ広告」をキャッチする 89.10.12 実施

- <内容>①いくつかの引き付けられる広告を使い、広告のアイデアについて考えます。
②各家庭で購読している新聞から、面白いと思う広告を探します。

第8時 「4コマ漫画&テレビ欄」をキャッチする 89.10.13 実施

- <内容>①『朝日新聞』のフジ三太郎の4コマ漫画を使い、どのような社会の出来事を漫画にしているかを話し合いそれぞれの漫画に各自題を付けます。
②テレビ欄からよく見る番組を出し、引き付けられる言葉を探します。
③ニュース番組に印を付け番組名にどのような外来語が使われているかを調べます。

(3)「新聞」を丸ごと使い、記事の内容について考える(4時間)

<目標>「新聞」を丸ごと読む練習をし、テレビの報道の仕方との違いを考えます。

第1時 教師の発問・指示により記事を読む 89.10.17 実施 『朝日新聞』89.10.17 朝刊を一人ひとりに配布。

- <内容>①一通り新聞に目を通させ、私が選んだ記事を私の発問・指示(どこで、どんなことが話題になったのか)により読み進めます。

第2時 子供が選んだ記事を教師の発問・指示により読む 89.10.19 実施 『読売新聞』89.10.19 朝刊を一人ひとりに配布。

- <内容>①子供が読みたいと思う記事を出してもらい(今回の場合は前日のサンフランシスコ大地震の記事が大きく扱われていたので、その記事が選ばれました)、それを私の発問・指示(写真では何が分かるか、記事はどこで、どんなことが話題になったのか)により読み進めます。
②東ドイツのホーネッカー議長が解任(『読売』)された記事も子供から出され、『朝日』は退陣、『毎日』は辞任、『産経』は更迭と見出しに書かれており、それぞれどのような意味なのかを調べることにします。

第3時 サンフランシスコ大地震のテレビでの報道を見る 89.10.20 実施

- <内容>①NHKとテレビ朝日のサンフランシスコ大地震の報道の一部を見ます。

第4時 新聞とテレビを比べる 89.10.24 実施

- <内容>①新聞とテレビのサンフランシスコ大地震の報道の違いを比べ、ニュースを受け取るには、新聞とテレビとどちらがいいかを討論します。
②ホーネッカー議長の解任、退陣、辞任、更迭の意味を発表し、新聞社によって捉え方が違うことを理解し、次の時間の新聞を比べて読むことにつなげます。

(4)「新聞」の記事を比べて読む(2時間)

<目標>新聞をいろいろ比べ、その必要性を考えます。

第1時 教室で『ヤジウマ新聞』(数社の新聞を比べる)を① 89.10.24 実施

<内容>①「読売」「朝日」「毎日」「産経」「日経」「東京」の一面を黒板にはり、それぞれどのような記事を掲載しているかを見ます。

②各自がその他の面から読みたい記事を読み、みんなに紹介します

第2時 教室で『ヤジウマ新聞』(数社の新聞を比べる)を② 89.10.26 実施

<内容>①『毎日』からの記事、余録、4コマ漫画と『産経』からの記事をクイズ形式で出し、内容を考えます。

②各自がその他読みたい記事を読み、みんなに紹介します。

(5)「新聞」の記事のおよそをつかみ、自分なりの解説を書く(2時間)

<目標>「新聞」のおよその内容を捉え、自分なりの解説が書けるようにします。

第1時 私は迷(?)ニュース・キャスター① 89.10.27実施 『毎日新聞』89.10.27朝刊を一人ひとりに配布。

<内容>①ニュース・キャスターのための用紙(B5版)を配り、やり方を説明します。

②『毎日新聞』から題材を探し、それに対する自分なりの解説を書きます。

③発表できる人はします。

第2時 私は迷(?)ニュース・キャスター② 89.10.31 実施 『朝日新聞』89.10.31 朝刊を一人ひとりに配布。

<内容>①『朝日新聞』から題材を探し、それに対する自分なりの解説を書きます。

②できるだけ多くの人が発表します。

※この日からニュース・キャスター用紙を必要なだけ配布し、それぞれの家庭で購読している新聞から題材を探して解説を書き、朝や終わりの会に自由に発表します。書いたものはニュース・キャスター用ファイル(B5版)にとじておきます。

(6)「ニュースは世界を駆けめぐる」仕組みを理解する(4時間)

<目標>「世界のニュース」の記事を書くためには、どのような人がいるかを理解します。

第1時 世界のニュースをキャッチする 89.11.7 実施

<内容>①「読売」「朝日」「毎日」「産経」「日経」「東京」の一面を黒板にはりどのような世界のニュースがあるか調べます(金日成氏の中国訪問の記事が載っていました)。

②国際面、その他の面にどのような世界のニュースが載っているか調べます。それらの記事に、OO特派員やロイター、APとか書かれていることに気付きます。

第2時 特派員の仕事・特派員マップの作成 89.11.9 実施

<内容>①特派員の仕事の大変さを理解する。分からないことが多いので手紙で尋ねることにします。

②特派員マップ(特派員の駐在先)の作成。

第3時 通信社の役割・通信社マップの作成 89.11.10 実施

<内容>①「産経」「毎日」「日経」「読売」「朝日」の特約している通信社を知ります。

②通信社マップ(どの国に本社があるか)の作成。

第4時 世界に日本のニュースを送る・在日外国報道関係者マップの作成 89.11.14 実施

<内容>①日本にも外国から報道関係者が来ていること、日本の新聞社が外国にニュースを送ることを知ります。

②在日外国報道関係者マップ(どの国から来ているか)の作成。

(7)「新聞」に関する自由研究オリエンテーション(2時間)

<目標>新聞に関する自由研究に取り組むヒントを提供します。

第1時 もう1度「新聞をキャッチする視点」を振り返る 89.11.15 実施

<内容>①新聞をキャッチする視点(見出し、写真、数字、統計資料、イラスト、広告、4コマ漫画、テレビ欄)を振り返ります。

第2時 自由研究のすすめ 89.11.16 実施

<内容>①自由研究のヒントを提供します。

※以後、各自自由研究に取り組みます。